

数学

関西大学 全学日程 [文系] (2/2実施)

<全体分析>

試験時間	60 分	解答問題数	3 題
------	------	-------	-----

解答形式

〔Ⅰ〕 記述式 〔Ⅱ〕 〔Ⅲ〕 空所補充形式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

融合問題が1題も出題されなかった。

その他トピックス

記述式が〔Ⅲ〕から〔Ⅰ〕に変更になった。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
〔Ⅰ〕	図形と計量	数学Ⅰ	三角形の成立条件, 正弦定理・余弦定理, 内接円の半径	やや易
〔Ⅱ〕	式と証明	数学Ⅱ	3次式の因数分解と5次式の値	標準
〔Ⅲ〕	積分法	数学Ⅱ	2つの放物線の2交点のx座標の差の最大値と2つの放物線と2直線で囲まれた面積	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

教科書の例題および章末問題レベルから標準の入試問題レベルまでしっかり練習しておくとい。本年度は出題されなかったが、複数の分野にまたがる融合問題も例年出題されているので幅広い分野の学習をしておこう。また、実戦力をつけるときは、過去問をはじめ、他の文系学部の入試問題まで必ず解いておくとい。